

広報

いちき串木野

特集 このまちの秋を楽しむ
～色んな秋見つけた～

R6. 11. 20 発行

11

vol. 229



今年の
秋の名場面は
これからです 🍎

LINE

いちき串木野市公式LINE

イベント情報など配信中！ぜひご登録ください



このまちの秋を楽しむ ～色んな秋見つけた～

秋が短いと言われる昨今ですが、本市では様々な秋が楽しめます。今月号には、色んな秋を掲載していますので、少しでも感じてください。

紅葉を見に行こう

今年の冠岳の紅葉は、11月下旬から12月上旬が見頃といわれており、まさに今の時期です。ぜひ、くるくるMOMIJIバスなどを利用して、秋を感じに出かけましょう。



地域の物産展も！

「くるくるMOMIJIバス」が運行中！

紅葉が見頃となった冠岳とJR串木野駅を結ぶ観光シャトルバス（予約制）を11月23日（土・祝）から12月1日（日）までの土日祝日限定で運行しています。

詳しくはお知らせ版11月5日号、または市ホームページ（右下の2次元コード）をご覧ください。

●運行期間

11月23日（土・祝）～12月1日（日）の
土日祝日限定

●予約 市総合観光案内所

☎32-5256



紅葉散策のお供に「冠岳薬膳弁当」販売中！

薬膳料理家の梶英子氏が監修の旬の地域食材を用いて丁寧に手作りで仕上げたお弁当です。徐福伝説と薬草の自生地知られる冠岳で、心にも体にも優しい薬膳を味わってみませんか？

- 販売日 くるくるMOMIJIバス運行日
- 受渡場所 冠岳花川砂防公園
- 受渡時間 11:00～13:00
- 販売金額 1個1,300円（税込）みそ汁付
- 製作 cafe ONE LOVE
- 予約 市総合観光案内所
☎32-5256

※必ず乗車希望日の前日までに
バス予約と一緒にご予約ください。



スポーツの秋

第17回いちき串木野市市民体育大会

10月13日、秋晴れの空の下、市民体育大会が5年ぶりに三井串木野グラウンド（市多目的グラウンド）で盛大に開催されました。各地区代表の選手たちによる熱戦が繰り広げられ、当日は16地区から選手役員総勢約1,000名が参加しました。



結果一覧

●Aブロック	優勝	羽島地区
	準優勝	中央地区
	第3位	生福地区
●Bブロック	優勝	大原地区
	準優勝	湊地区
	第3位	旭地区



祭りの秋

10月20日には、本市で秋の催しが多数開催され、多くの来場者が訪れました。

産業まつり開催

串木野地域中心商店街にて「いちき串木野産業まつり～まちなかフェスタ～」が開催され、約5千人の方が来場されました。会場には地元の特産品の店が並び、本市最大の物産展を楽しみました。ロータリー内に設置されたステージでは、神村学園吹奏楽部の演奏や赤ちゃんハイハイレースなどで盛り上がりました。

【マグロの重量当てクイズの正解 132.1kg】



▲赤ちゃんハイハイレース



▲スーパーカー展示



▲ユンボ体験



▲いちき串木野電力のランタン作り

新酒祭り&えびす市場秋の味覚祭

濱田酒造伝兵衛蔵の新酒祭り、市来えびす市場での秋の味覚祭も開催されました。

新酒祭りでは、参加者が蔵見学や焼酎のBarなどを楽しみました。

秋の味覚祭では、月日貝のふるまいや毎年恒例の市来の高齢者施設への秋太郎贈呈が行われました。





市文化祭

11月3日、市民文化センターで、市文化祭芸能発表大会が開催されました。

オープニングは串木野西中学校の生徒による吹奏楽部の演奏で始まり、合唱や日本舞踊、ハーモニカ演奏など幅広い演目が発表されました。

昨年よりも出演者が多く、会場も大いに盛り上がりました。会場入り口には、書道や竹細工、華道などの作品展示が行われ、会場に華を添えました。



黎明の地ふるさと短歌大会

10月19日、羽島交流センターで、第8回黎明の地ふるさと短歌大会の授賞式が行われました。

萬造寺齊生誕の地「羽島」で初めての開催ということで、コールあじさいによる望郷歌の披露や萬造寺齊先生の4女である伊多波洋子さんからのお祝いのメッセージが届きました。

今年も県内各地から3,827首の優秀作品が集まり、33名の方の作品が受賞しました。羽島崎神社の境内には、歴代の大賞・最優秀賞作品を掲載したプレートが設置してあります。ぜひご覧ください。

【一般の部 最優秀賞】

卒寿までキッチンに立てる喜びを

ロールキャベツのさ緑に巻く

霧島市 四元 幸子

【高校生の部 最優秀賞】

今行くよ 鳴く子牛へと走ってく

ミルクのぬくもり 大事に抱え

県立市来農芸高等学校三年 吉野 由桜

【中学生の部 最優秀賞】

夏空に奏でる音色 響かせて

思いを音におりる指揮棒

伊佐市立大口中央中学校二年 西 よしの

【小学生の部 最優秀賞】

なわおもく ふきあげはまでのじびきあみ

しずむ足にも力を入れる

いちき串木野市立川上小学校四年 藤井 志織

【黎明の地ふるさと短歌大会 大賞】

やってみろ 父は南洋マングロ船

メールが届き 一步を決める

いちき串木野市 猪之鼻 浩二

婚活♡応援 特別プラン

対象者

本市に住所を有している独身の方

特別プランの内容

ゼクシィ縁結び3ヶ月プラン（11,880円）のうち1ヶ月分（3,960円）を無料でご提供します。
さらに、結婚活動支援補助金※を申請すると2ヶ月分（7,920円）も追加で補助します！

※詳しくは[右下](#)をご覧ください。

いちき串木野市 × ゼクシィ縁結び

令和6年10月より、株式会社リクルートが運営するマッチングアプリ「ゼクシィ縁結び」の特別プランが始まりました♡



利用方法



① キャンペーンコードの申請

ホームページ（右下の二次元コード）からキャンペーンコードを申請します。



② キャンペーンコードの発行

申請結果を確認した市からキャンペーンコードが発行されます。



ブラウザ
→アプリ

③ 3ヶ月プラン入会

ゼクシィ縁結びブラウザ版からキャンペーンコードを入力の上、プランに入会し7,920円をクレジットカード決済します。

④ 補助申請（44歳以下限定）

ホームページから、結婚活動支援補助金の申請をします。



⑤ 補助金交付

市が申請内容を確認の上、補助金を交付します。

利用者負担
実質0円！



結婚活動支援補助金

44歳以下の独身の方を対象に、婚活サイトや婚活アプリ、結婚相談所等の事業所への登録・更新費用を支援しています。

- ① 年度内に要した対象経費の50%を補助（補助上限10万円）
- ② ゼクシィ縁結びは初回登録に限り全額補助

【ゼクシィ縁結び登録時の留意事項】

- ・登録は必ずブラウザ版から行ってください。登録後はアプリで使用できます。
- ・クレジットカード払いのみが対象です。
- ・18歳未満の方は利用できません。



▲特別プランキャンペーンコードの申請ページ



▲結婚活動支援補助金ホームページ



第2回いちき串木野市公式Instagram

カレンダーフォトコンテスト結果発表



テーマ『わたしの自慢したい いちき串木野』 #2025年いち串フォトコン



12月1日から、本フォトコンテストの採用作品で構成されたカレンダーを
総合観光案内所や薩摩藩英国留学生記念館にて300円で発売開始！



最優秀賞



撮影者：@_inosy_

撮影場所：サマーフェスタ会場

『いつまでも全力で』

●撮影者のコメント

幼い頃は怖くて見れなかった七夕踊り。勇敢に立ち向かう姿に元気をもらいました。いつまでも続きますように。

●審査員評（アートディレクター 富永 功太郎）

画面からはみ出んばかりの大きな張り子のトラと、槍を持ってそれに立ち向かう男。いちき串木野市大里地区に400年以上前から伝わる「市来の七夕踊」の一場面です。隣町の湯之元出身の自分が小学生の頃、スケッチ大会ではみんながこのトラを描いたものです。ただこの写真はそういうノスタルジーを凌駕する、迫力ある瞬間を捉えた一枚で、一目で心を掴まれました。親父さんの表情、最高です！

▼佳作を含めた結果はこちら



【入選（12作品）】 撮影者、撮影場所、作品タイトル



takaswei 冠岳

ポメロと爽やかラン



@photo_need2 荒川

夕焼けのカーテンと孤独な釣り人



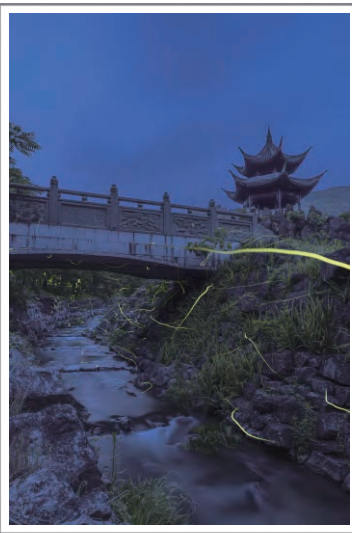
@gent_eye_view 羽島

よかにせになったど！



yukichan.style 観音ヶ池市民の森

春爛漫



@tapohige 冠岳花川砂防公園

溪流に舞う



@fuminu0719 観音ヶ池市民の森

只今、休憩中。。。



@hideo_koba 祇園祭（湊町）

タイムスリップ



@hideo_koba 羽島

初夏の釣り日和の休日



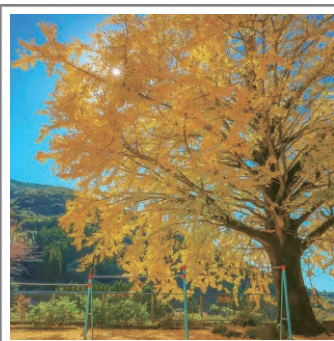
@lenswander25 大里

郷土芸能の記録を撮る



@tapohige 眼鏡橋

重なる奇跡



@kushikino_photo001 旧冠岳小学校

黄金の大木



SATA-LOW 串木野駅

雪化粧の串木野駅

－串木野中学校開校準備委員会－

制服

◆制服の選定

統合後の新たな串木野中学校の制服は、現在、**串木野西中学校で採用しているブレザー**に決まりました。

- ・ジェンダーレス等の社会情勢を考慮し、スカートやスラックス等が自由に選べ、男女差のない制服です。

◆導入時期

4中学校（串中、西中、羽島中、生冠中）へ**令和7年4月1日に入学する生徒から適用**します。

- ・ジェンダーレスの観点から、少しでも早い導入を目指します。
- ・令和7年度に串木野中学校、羽島中学校、生冠中学校に入学する生徒は、新たな学校の制服を着用できます。

◆現制服の利用

現在4中学校で着用している制服は、個人的な制服の譲り受け等を考慮し、**令和8年度以降、新たな串木野中学校においても着用**できます。

- ・利用できる状況であれば、着用期限は設けません。
- ・新入学の生徒も、家族等から譲り受けた既存の制服があれば、着用してもかまいません。



【写真】串木野西中学校の制服

◆令和7年度以降の各学校の制服 ※現在の4中学校の既存の制服は、期限なく着用できます。

		令和7年度	令和8年度
串木野中学校 羽島中学校 生冠中学校	3年	既存服	学校統合
	2年	既存服	
	1年	新制服	
串木野西中学校	3年	新制服	
	2年	新制服	
	1年	新制服	
【新】串木野中学校	3年	—	既存服
	2年		新制服
	1年		新制服

部活動

◆新中学校部活動設置方針（案） 継続協議

設置方針（案）や附帯意見を検討し、串木野中学校に提案します。

【提案内容】

- ・令和8年度当初の新中学校の部活動は、統合前の4中学校で活動していた部活動を設置する。新中学校になって入部希望者がなかった場合は廃部とする。
- ・新たな部活動は、新中学校になってから生徒の要望を考慮し、学校で設置を検討する。

【附帯意見】

統合するまでの間、各中学校間の部活動の交流について検討してほしい。



自転車通学

自転車通学導入は、これまでに部会等で出された提案事項等を踏まえ、今後さらに教務部会並びに串木野中学校において、安全性を考慮して検討します。

【提案事項】

- ・通学距離が2 km以上の生徒は自転車通学を検討してほしい。
- ・通学時の許可が難しければ、土曜日、夏休み等の部活動時だけでも許可を検討してほしい。

※徒歩通学区間のうち、串木野中学校から概ね2 km以上離れている地域

（上名地区）大藪、小藪、河内、浅山、薩摩山

（照島地区）海瀬、八房、別府

（野平地区）平江、野元、深田下



【附帯意見】

- ・安全性の確保を第一に、事故のリスクも含めて、慎重に協議すること。
- ・許可する場合は、ヘルメット、自転車保険、ステッカー等の準備品、通学路、交通マナー等の必要事項やルールを定めた規則を整備し、安全確保に努めること。

スクールバス

◆ 通常日（月～金曜日、土曜授業日）の送迎

・運行路線、乗降場所（案）

区 間	R 8 乗車 予定人員	乗降場所【路線バスの停留所を基本に選定】
荒川 ⇄ 旭 ⇄ 串中	15人	寺村、草良（または鉱山入口）、芹ヶ野、金山峠、野下口
羽島 ⇄ 串中	23人	下山、羽島交流センター、横須、白浜
生福 ⇄ 串中	28人	福藪（旧川崎商店付近）、中段公園（ウッドタウン）

※羽島区間の下山⇄羽島交流センター間は、乗車時間が合えば、下山地域の羽島小学生の利用を認めます。

・時刻表（案）

区 間	登校時		下校時			
			1 便（6 時間授業時）		2 便（部活動終了時※5～7月）	
	発	着（串中）	発（串中）	着	発（串中）	着
荒川⇄旭⇄串中	（寺村）7:35	8:05	16:40	（寺村）17:10	18:55	（寺村）19:25
羽島 ⇄ 串中	（下山）7:30	8:00	16:45	（下山）17:15	19:00	（下山）19:30
生福 ⇄ 串中	（福藪）7:42	7:55	16:50	（福藪）17:03	19:05	（福藪）19:18

※時刻は、登下校時間を参考にした暫定のものであり、決定ではありません。

◆ 土曜日、夏休み時の部活動の送迎

貸切バス事業者へ2区間を委託する方向で協議を進めます。

運行路線（案）

区 間	乗降場所（案）
旭 ⇄ 生福 ⇄ 串中	芹ヶ野、金山峠、野下口、福藪、中段公園
羽島 ⇄ 荒川 ⇄ 串中	下山、羽島交流センター、横須、白浜、寺村、草良



本市で取り組んでいる「食のまちづくり」に関連する情報を紹介します。「食」を通じて、いろんなことを楽しむ、いろんなことをやってみる。人がいきいきと輝き、まちが元気になる。それが「いちき串木野市 食のまちづくり宣言」です。本市は、海の味、山の味、こだわりの珈琲から蔵元の焼酎まで、心がほっとするおいしいものが身近にある、豊かな食文化を誇るまちです。この食文化をおいしく、楽しく味わいながら、人がいきいきと輝くまちにみんなで育てていきましょう。



“もったいない”から始まった、いちき串木野市民が愛する郷土の味

Text & photo Yasutoshi Kami

今回は本市の郷土の味を作り続ける『市来生活研究加工部』（以下：加工部）にお邪魔し、活動に至る背景や想いなどを聞きました。

地産地消が活動の原点

活動が始まったのは1984年(昭和59年)頃。県外から嫁いできた松崎和子さん（以下：和子さん）は嫁ぎ先で農作業をする中で商品にならない規格外品を目にし「もったいない…」「これは何とかしないけない」と感じ、地域の農家の女性たちと加工グループを立ち上げました。それが今の活動のきっかけだったといえます。

最初はいちごジャムづくりからはじまり、そこからポンカンジャムやサワーポメロジャム、ふくれ菓子、天つゆ、めんつゆ、あくまきなど、地域にとって馴染みのある味を食べやすくアレンジして商品開発を進めてきたのだとか。今では季節に応じた

10種類以上もの味を40年以上にもわたり届け続けています。当時のことを和子さんはこのように振り返ります。

「鹿児島に嫁いで一番びっくりしたのは初めて食べた“あくまき”の強い苦さでした。みんなに美味しく食べていただけるあくまきができないかと考えました。メンバーと知恵を振り絞り、ミカンの木灰を使った、あくの風味が穏やかで食べやすい“あくまき”をつくることができ、今では人気商品の一つになっています」

地域資源の価値を掘り起こすことで生まれる様々な循環

和子さんにとって、活動を続けてきてよかったと思える瞬間の一つが「ここで作られた商品を口にしたら、他では食べられないよ」と嬉しい言葉をもらうとき。規格外品を活用することで地域の生産者から喜びの声も届いているそうです。

“地元のモノを大事に。そして、目を向けられないモノの良さを掘り起こして価値を高めていきたい。”

その想いで活動を続けてきたからこそ、モノの循環だけではなく、味や人との繋がりの循環を生み出しているように思えます。最後に今後の展望について聞きました



「一つ一つの商品をつくるにも手間がかかるので、大変なことも多いです。年齢的・体力的にもこの活動がいつまで続けられるのか…と思うこともしばしば」

「嫁いだ時は郷土の味の違いにびっくりしましたが、結局、私は鹿児島の、いちき串木野の味に惹かれたからこそ今の活動が始められました、好きな気持ちがあるからこそ継続できていると思っています」

「ありがたいことに私とともに一緒に活動してくれる仲間がいます。地域のモノを活かし、誰からも喜んでもらえる郷土の味を届けられるようにみんなで無理なく、楽しく活動していきたいです」



公式note

これまでのおいしい情報、コラムの続きは右の二次元コードからご覧ください。

